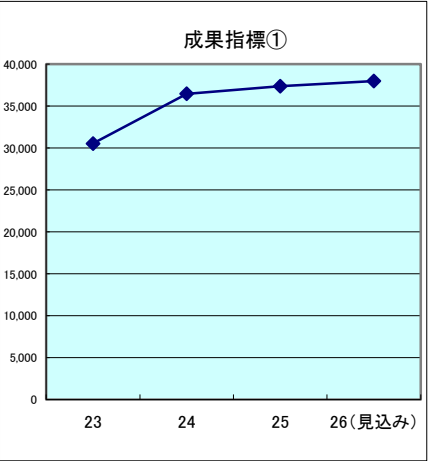
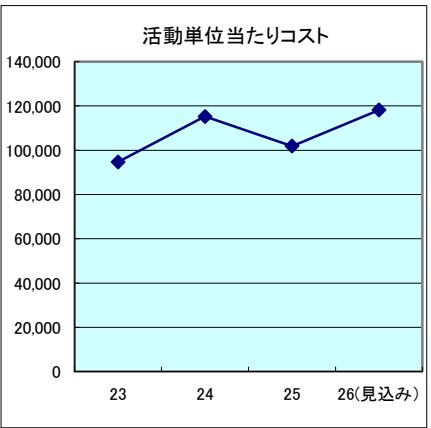


事務事業名			健康ふれあいの郷グラウンド・ゴルフ場管理運営事業		予算科目	会計	1	一般会計	
総合基本計画	まちづくりの目標(章)	4	魅力ある地域社会を拓く活力あるまち			款	10	教育費	
	施策(節)	4	市民スポーツ・レクリエーション			項	6	保健体育費	
	施策の方向	(3)	施設の有効活用と効率的な管理運営			目	3	体育施設管理運営費	
	関連する計画等					事業	7	健康ふれあいの郷スポーツ公園管理運営費	
					作成部署	教育委員会事務局生涯学習室スポーツ振興課			
					(連絡先)	072 - 958 - 1111 内線 4411			
事業の概要(目的・内容)		平成21年11月にオープンし、平成24年4月に新たに8ホールを増設し24ホールとなったグラウンド・ゴルフ場を市民を始めとする利用者に気軽にスポーツと触れ合うことの出来る場として提供する。また夏休み期間中の1ヶ月間は夏季限定企画として北コースを水辺のある芝生広場として無料開放しており、来場者に好評を得ている。今後も利用者にスポーツと触れ合う場所・参加者同士が気軽に触れ合える場とする為、管理を徹底していく。							
根拠法令等		スポーツ基本法・羽曳野市立健康ふれあいの郷グラウンド・ゴルフ場条例							
事業期間		☐ 10年以上 ☒ 5年以上10年未満 ☐ 5年未満 (平成 年度開始)							
事業開始時から の状況変化		平成21年にオープンしたグラウンド・ゴルフ場もコースを増設し、市外の方々の来場も増えてきた。今後も芝生の管理を徹底させ、来場者に楽しんでいただく為の施作を図っていく。							
実施手法		☒ 直営 ☐ 一部委託 ☐ 全部委託 ☐ 補助金・助成金 ☐ その他()							
委託先		☐ 市外郭団体委託 名称()						委託内容	
		☐ 民間委託 ☐ その他							

区 分		23年度 (実績)	24年度 (実績)	25年度 (実績)	26年度 (見込み)
事業費【1】 (千円)		6,150	12,747	13,129	17,802
人件費【2】 (千円)		23,208	22,745	18,260	18,607
職員数	正規職員	1.55 人	1.55 人	0.90 人	0.95 人
	再任用職員	4.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人
	嘱託職員	0.02 人	0.02 人	0.02 人	0.15 人
	臨時職員	2.00 人	3.00 人	3.00 人	3.00 人
超過勤務(参考) (時間)		時間	時間	時間	時間
総事業費【(1)+(2)】【A】 (千円)		29,358	35,492	31,389	36,409
財源内訳	国庫支出金 (千円)				
	府支出金 (千円)				
	市債 (千円)				
	その他(使用料・手数料等) (千円)	8,223	12,496	12,131	11,025
一般財源【B】 (千円)		21,135	22,996	19,258	25,384
活動指標【C】 (事業の活動実績) 単位		23年度	24年度	25年度	26年度 (見込み)
① 開場日数	日	310	308	308	308
②					
活動単位当たりコスト 〔A〕÷〔C〕①		94,703 円	115,234 円	101,912 円	118,212 円
活動単位当たり一般財源額 〔B〕÷〔C〕①		68,177 円	74,662 円	62,526 円	82,416 円
市民1人当たりコスト 〔A〕÷人口		249 円	303 円	269 円	315 円
一般財源【B】の推移(前年度比)			8.8 % ▲	16.3 %	31.8 %
※前年度比5%以上変動している要因(該当する場合のみ)		☐ 1. 制度改正・事業の見直しなど ☐ 2. 左記1によらない対象件数などの増減			
※該当項目すべてに✓		☐ 3. 物価・賃金水準などの変動 ☐ 4. 国庫支出金など特定財源の増減			
		☒ 5. その他(スプリンクラー増設工事)			



成果指標 (事業の達成度を測る指標)	指標名		単位	平成23年度		平成24年度	平成25年度	平成26年度	
	①	グラウンド・ゴルフ場来場者数	人	目標	33,000	33,000	38,000	達成率(%)	38,000
		(式又は説明)		実績	30,532	36,483	37,380	98.4%	
	②			目標				達成率(%)	
		(式又は説明)		実績					

市の関与の必要性	市の関与が必要な理由									評価
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	必要性
	法令上の義務	受益者が不特定多数	最低限の生活水準を確保	市民の不安を解消	社会的経済的弱者を対象	民間だけでは負担しきれない	民間だけでは供給不足	市の特色等を市内外へ発信	第三者にも受益がある	有
		○				○	○	○		

分析・評価	視点	分析のためのチェック点	はい	いいえ	該当なし	分析・評価の説明
	妥当性	市民ニーズが高い（事業の拡充・継続の要望がある、又、活動指標が増加傾向にあるなど）	☒	☐	☐	大阪府下でも数少ない芝生の綺麗な難コースとして最近では他市からの参加者も多く、また、生涯スポーツとしても人気があり、事業の縮小・廃止・休止等をした場合の影響はかなり大きい。また、キッズパークも期間の延長を望まれる声を多数いただいている。
		市民ニーズと比較してサービスの対象範囲や水準が適切か	☒	☐	☐	
		他市の水準と比較しても、対象範囲や水準を見直す必要がない	☒	☐	☐	
		事業を縮小、又は廃止・休止した場合の影響度が大きい	☒	☐	☐	
	効率性	活動単位あたりコストが適切である（経年比較など）	☒	☐	☐	再任用職員3名・臨時職員3名を中心に管理等を行っている。キッズパークは平成24年度より178%の利用者増となっている。このことから効率性は妥当である。
		使用料・手数料等の受益者負担の割合は適当である	☒	☐	☐	
		人員を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		事業費を削減する余地がない	☒	☐	☐	
		国・府の事業や市の他事業と重複していない	☒	☐	☐	
		市の他事業との統合や、事業の簡略化の余地がない	☒	☐	☐	
		民間活力（民間委託、NPO・ボランティアなど）の活用について検討の余地がない（すでに活用しており、拡大の余地はないを含む）	☐	☒	☐	
	協働性	事業の企画や実施にあたり、市民の意見を反映しているか、又、参加、協力が得られているか	☒	☐	☐	スポーツ推進委員の協力を得た大会（市長杯）も開催しており、月例大会等では参加者の意見も入れながら行っている。
	有効性	成果指標の実績値は目標値以上である	☐	☒	☐	目標数には届かなかったが、前年度より利用者数は増加している。
	達成度	成果指標は前年度より向上している	☒	☐	☐	目標数を5,000人増した為、指標は減となっている。

担当部局評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止 （概ね現行どおり継続して実施） （実施方法の改善を検討する） （事業規模の縮小を検討する） （廃止・休止を検討する）	
	今後に向けて（取組方針・具体的な改善改革案など）	
	現状維持は最低ラインと認識し、今以上に来場者の方々に生涯スポーツとしてだけでなく、楽しんで頂けるイベント等を計画し、平成26年度からは協賛企業も募集し（アシックス・市内スポーツ店等）、目標来場者数をクリアしていきたい。	
行革本部評価	総合評価	
	☒ 継続 ☐ 改善 ☐ 縮小 ☐ 廃止・休止	
	評価理由・意見 スプリングレーの増設により管理コストが削減される見込みである。また、大会への協賛者の募集を積極的に行っており、コストの削減に寄与している。今後も引き続き、大会への協賛者の募集等により、コストの削減に努めること。	